



表1 引受基準緩和型医療保険の「告知書」の例

1	最近3ヵ月以内に受けた医師による検査または診察で、入院または手術をすすめられたことがありますか。
2	過去1年以内に、病気やケガで入院したこと、または手術を受けたことがありますか。
3	過去5年以内に、ガン(悪性新生物および上皮内新生物)または肝硬変で、入院したこと、または手術を受けたことがありますか。 *白血病その他の血液のしゅようは悪性新生物に含まれます。

出典:メットライフアリコ

その際の保険料は、一般の保険料の1.5～2倍程度のイメージです。加えて、入院日額10,000円のプランで契約していても、最初の1年間は入院日額5,000円での支払いとなるデメリットがあります。

とはいえ、申込書と告知書を書いて郵送すればいいので、気分的に楽に申し込めるメリットもあります。また、持病も保障されるので、てんかんで発作がおきた時でも安心です。

これらのメリット・デメリットを踏まえ、「そんなにデメリットがあるのなら、無理して入らなくても…」と思える人は、貯蓄で備えるのも一つ

表2 てんかんの持病があっても入れる医療保険(例)

保険会社名「保険商品名」	保険期間	加入可能年齢	告知項目数	月払保険料例 <sup>※1</sup>
アクサ生命「OKメディカル」	終身	20歳～75歳	4項目	2,520円(2,580円)
アメリカンファミリー(アブラック)「もっとやさしいEVER」	終身	満30歳～80歳	3項目	2,940円(3,325円)
オリックス生命「キュア・サポート」	終身	満20歳～80歳	4項目	3,328円(3,363円)
東京海上日動あんしん生命「メディカルkitラヴ」	終身	30歳～75歳	4項目 (女性は5項目)	3,924円(4,214円)
メットライフアリコ「ずっとあなたと」	終身	満30歳～80歳	3項目	3,445円(3,280円)
ぜんち共済「ぜんちのあんしん保険」	1年	満5歳～74歳	0項目 (無選択型)	1,250円 <sup>※2</sup> (1,250円)

※1:保険料例は入院給付金日額5,000円、30歳の保険料例。左:男性、( )内:女性。

※2:ぜんち共済は、入院日額10,000円(ただし、てんかんは入院日額が5,000円)で、手術給付金なしのAプランの例。年間保険料を12ヵ月で按分して掲載。

の方法です。

## A社で×でもB社で○なことも。 複数社での比較検討が鉄則!

これらの特徴を理解した上で、「引受基準緩和型」を前向きに検討したい人は、必ず複数の保険会社で調べることが大切です。なぜなら、告知項目や保険料が、各社でさまざまな現状があるからです。

たとえ、A社では告知項目にひっかかったとしても、B社やC社ではOKだったということはありがちです。また、申込み可能な年齢層に違いがあったり、保険料にも差があります。

告知項目が厳しくないところは、入りやすい一方で比較的保険料が高く、逆に、告知項目が厳しめのところは、その分だけ保険料が安くなっていたりします。自分にぴったりのところを選ぶには、よく比較検討することが大切です。

次回は、「引受基準緩和型」の“終身保険”について取り上げます。